

令和6年春の叙勲 山下 義前会長 旭日双光章受章

令和6年（2024年）春の叙勲において、一般社団法人全日本かるた協会の名誉会員である山下 義（やました ただし）前会長が、旭日双光章を受章されましたことをお知らせいたします。これは長年に渡り小倉百人一首競技かるたの普及振興に努め、日本文化の継承発展に大きく貢献したことが称えられたものであり、競技かるた界では初めての受章となります。



<山下 義氏 プロフィール>

第9期、11期、15期、18期 準名人位
1957年 大阪晩会 入会
1975年 大阪晩会 会長 就任
1986年 全日本かるた協会 副会長 就任
2005年 社団法人全日本かるた協会 会長 就任
2014年 一般社団法人全日本かるた協会 初代会長 就任
2015年 一般社団法人全日本かるた協会 顧問 就任
2020年 一般社団法人全日本かるた協会 名誉会員

<山下氏 受章コメント>

私は、60年以上に渡り、「小倉百人一首競技かるた」に携わってまいりましたが、今回の受章は、もちろん私一人の功績によるものではなく、当協会会員またご支援者ご支援団体の絶大なご協力の賜物であります。この場を借りて関係各位に厚く御礼申し上げますとともに、今後も時代を超えて、「小倉百人一首競技かるた」が継承されていくことを切に祈念申し上げます。

山下前会長は、当協会の公益法人化に尽力し、1996年に「社団法人全日本かるた協会」を実現。これにより、「競技かるたの愛好団体」から「小倉百人一首」のもつ文化全般の調査研究、普及、発展にも寄与する幅広い文化事業を担う団体へと発展させました。

また、こどもから高齢者まで年齢を問わず参加可能な競技の特性を活かし、国民文化祭、ねんりんピック、全国高等学校総合文化祭の種目に「小倉百人一首競技かるた」が組み込まれるよう貢献され、「小倉百人一首競技かるた」を一層広く世間に認知させることで、日本文化の継承に大きな功績を残されています。

■一般社団法人全日本かるた協会

小倉百人一首を活用して行う「競技かるた」の大会や、「小倉百人一首」に関する調査・研究、講演会・講習会等を通して、広く日本文化の振興・発展に努めています。

日本文化である「小倉百人一首」が時を経て、「競技かるた」として親しまれるようになり、新たな文化として受け継がれています。当協会は、「競技かるた」が次世代にも長く愛される文化ならびに競技であり続けることを願い、今後も活動して参ります。